

Café good bye!

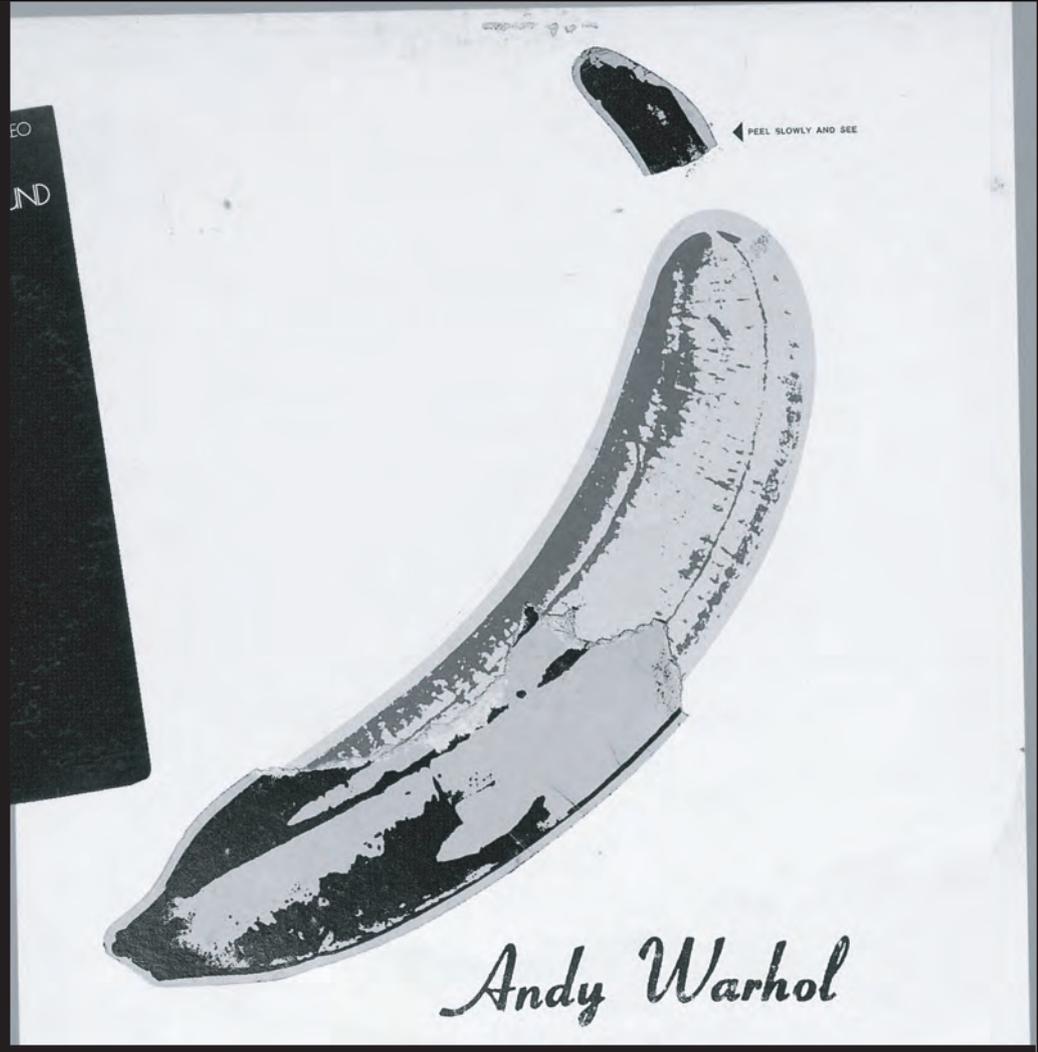
Milk Hall

No.5 ミルクホールの伝説

ミルクホールで働く人達は、全員皆アルバイトで入ってきます。その中でたまたま長く働いた人がレギュラースタッフになっていきます。

アルバイトに始めて入って先輩格アルバイトの人に色々なことを教わる時、皆が戸惑うのが、ミルクホールの小部屋の呼び名です。ホールとかバーラームなどの他に狸とか、メキシコなんてのもある。入り口近くの小部屋は「狸」と呼んでいるので、「狸から〇〇取って来てね」なんて・・・日常不可欠な会話に出てきますから、本当に戸惑うようです。それが不思議と感じなくなる頃又、後輩が入ってきてそれを教えている、という具合です。始めは店が古くて何でもミステリアスに感じるのですが、しばらくすると何てこと無いことに気づくようです。ミステリアスというなら、新人アルバイトはいつでも先輩達にとってミステリアスな存在です。あっという間に辞めてしまう人は永遠にミステリアスな存在になりますが、長い間働いてなお且つ不可思議な存在感を放つ人物も時にはいます。それが、伝説にまでなった・・・ といえはやはり筆頭にあがるのは、日本のダーツプレイヤーの草分けでもある、渡部弘さんでしょうか。ミルクホールで働きながらプロのダーツプレイヤーとなり、長年日本チャンピオンの座にあり、海外でも活躍した人です。彼は、ミルクホールだけでなく、日本のダーツ会の伝説の人でもあります。今でも彼が夜中までお店でダーツの練習をしていた音が聞こえるようです。トップに立つものの哀愁と厳しさ、そしてどこか悲しい目をしている人でした。

今も、時々訪ねてきてくれますが、やはりミステリアスで、伝説にふさわしい先輩です。



CASTRO

Information

ミルクホールの記念文集について

ミルクホールを長年ご利用頂いたお客様や、ミルクホールで働いたことのあるという人、また、お仕事の関係で、撮影や取材された方、お店で演奏をされた方など、この37年間の間に、ミルクホールと関わって頂いた方たちの、思い出話を募集しております。長くても短くても結構です。今のミルクホールの写真と共に、編集し掲載して一冊の文集を作りたいと思います。

心より、ご投稿お待ちしております。

ミルクホールタイムス 編集部より



COLUMN

鎌倉の猫事情 第九十三話 

グーニー君は重い病の床についています。あの元気な鳴き声も聞かれず、時々苦しそうにつぶやく声は、かすれて聞こえないほどです。つい半年前まで丸々として外を跳ね回っていた体も痩せて衰弱し、ちょっとそこまでジャンプする力も出ない様子です。一日中ぼんやりして何か物思いでもするように眠るでもなく横になっています。先日、真夜中に何度も起きてふらふらと歩いていくのでどうするのかと見ていると、自分の水飲み場のところまで行って、ただじっとお水を見つめているのです。その姿があんまり可哀そうで、悲しくなっていました。ある朝、そんな状態でふらふらと日向ぼっこに出掛けたのです。少し元気になったのかと思ったのですが、2時間もそのまま居なくなったのです。お隣の清ちゃんや娘さんにまでお願いして血眼になって捜しましたが、どこにもいません。これはもう、何かを覚悟して出て行ったに違いないと思ひ込み、ついつい表へ出してしまった自分を責め、でもやはり本人の望むような生き方をさせるべきだったのだと、くよくよと思いを巡らしながらも、あのグーニーにそんな根性があったのかしらんと、不審にも思っていたところ、階段の下から、「いました～！ いましたよ、グーニーが！」と大きな声が聞こえました。朝の仕込みも放って捜してくれていたスタッフのI君が屋根の上で寝ているのを見つけてくれたのです。庇の上で足元がおぼつかなくふらふらしていたのを二人がかりで保護しました。その後、目を離さず看病し、ほんの少し正気を取り戻しつつありますが、油断ならない状態に変わりありません。

一方裏路地では、劇的な変化が起きつつあります。なにしろ、長年この裏路地に睨みを利かせてきたグーニーを目の上のたんこぶと考えていた猫は少なくないのです。いや、こんなにいたのかと感心するほど、夜もふけてくると裏路地と言わず、うちの塀や物干し台や庇まで、グーニーが大切に守ってきた縄張りを狙ってくる猫どもの唸り声が聞こえてくるのです。白いのや黒いのや茶色のやら、次は俺様だと言わんばかりの主張をしに来るのです。その隙間をくぐって、数年家を放浪していた長女のすみれも帰還を果たしました。この時の流れはもう押し戻されることはないでしょう。

裏路地の、新たな戦いの時が始まったのです。 ————— to be continued



2010年 7月 ミルクホール 再生へ

ミルクホール37年間との別れ、そして、次世代への伝言

1972年、ミルクホールはその頃まだ静かな町だった鎌倉の裏通りに小さな彫金アクセサリーの店としてオープンしました。そしてその約4年後の1976年に、喫茶室と夜お酒が飲めるBAR ROOMまでを完成させ、今のミルクホールの形になりました。37年間、危い事も経験しながらどうにか営業続けて参りました。37年を振り返ると、人が生まれ、育ち、そして老いて行くさまのようだったと感じます。

まるで人生のように悲喜こもごもがありました。文字通りマスターの手の中から生まれたミルクホールです。柱も壁も窓もカウンターも一つ一つその手で作った店でした。その後も改修の度にこつこつと皆で直し、労ってきましたが、ミルクホールの老獺ぶりは限界にきています。私達は今ミルクホールと一度決別し、今年の夏7月より、改築することを決めました。マスターは、今年60歳、還暦です。もう一度1972年に還って、37年前にそうしたように、壁を塗り、柱を建て、一度外した窓やドア、カウンターを組み上げて、ミルクホールを今のこの形に再現し、11月、再びミルクホールを皆様のもとへお返ししたいと思っています。

ミルクホールをもう一度再生して、この先も、子や孫の代まで、50年、100年と繋いで行きたいという事が私達の夢です。いつまでもここに残っている事。それが、ミルクホールより、次世代への伝言なのです。



中島月通信



2010年5月、ミルクホールのアンティーク店を閉店いたします。20年間開催いたしましたミルクホールの蚤の市も、残すところ三回となります。在庫処分の蚤の市、ご期待下さい。

ミルクホールの蚤の市は、毎月一度テーマを決めて、開催いたします。

4/24 Sat. 25 Sun.

◆ アンティーク

4月は、懐かしいガラス器、ランプシェード等など

ミルクホール 最後の蚤の市

5/11 Tue. - - 16 Sun.

骨董・ガラス器市
蚤の市
骨董 アンティーク きのもの

長年のご愛顧に感謝し、蚤の市終了後、改修工事に入ります。

Information

ミルクホールタイムス総集編
「鎌倉ミルクホールタイムス」
No.001 ~ No.100 ¥1500

ミルクホールタイムスを創刊号より、100号まで編集いたしました。鎌倉の猫事情を第一話より第一部の終わりまで掲載しています。



HISTORY

KAMAKURA 場所の記憶 No.44

WANTED

ミルクホールのルーツ No.30

ミルクホールは開店以来、沢山の若いアルバイトスタッフによって支えられてきました。37年間の長い年月には、数百人の人達がここで働いてきたのです。

1970年代からもうすでに2010年代です。時代時代の若者達の様子は、見た目も癖も考え方も違ってきました。アルバイトスタッフは時代を映す鏡のようなものだとつくづく感じます。今もこれからも、それは続いて行くでしょう。沢山の人が残していった足音とそして巣立っていったドアの音が、今も耳に残っています。ミルクホールのドアの鐘には様々な沢山の記憶がこもっています。



ミルクホールスタッフOB集合!

ミルクホール2010年の改築の記念に、ミルクホール37年間のスタッフ全員にお集まり頂きたいと計画しております。

37年という間にミルクホールで共に働いた人々は沢山います。今は家庭を持ち、鎌倉を遠く離れた人達、海外に住んでいる人達、懐かしい仲間達からのご一報をお待ちしています。

ミルクホール又は、MIXIのコミュニティ「鎌倉ミルクホールメイト」などへご連絡下さい。

LIVE

3/27

Sat. ミルクホールの BAR TIME を
ライブでお楽しみ下さい。

by HALF MOON

19:30~

HALF MOONは、愛と平和を歌います。

琢磨 仁
琢磨 啓子

ミルクホール

骨董・ガラクタ市

蚤の市

3/27 Sat. 28 Sun.

3月は、和洋家具 日本の木のものを中心に。
日本の和洋家具・建具、昔の職人の造りの良さが魅力です

ANTIQUE

♠ 和洋家具

- ★★大正時代ガラス水屋 2段
- ★★カウンターテーブル ミシン脚 2種
- ★★明治・大正時代小箆笥各種
- ★明治時代衝立・昭和初期衝立
- ★★日本の建具・窓各種
- ★★明治～昭和文机各種
- ★裁縫台各種
- ★大正時代ガラスケース各種

伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

♣ 古陶磁

- 伊万里・古伊万里・
明治べろ藍・大正色絵等々
- ★★古伊万里そば猪口
 - ★★幕末伊万里染付け色々
 - ★★明治錦絵七寸皿
 - ★★伊万里錦絵小皿5枚組
 - ★★織部長皿・瀬戸豆皿
 - ★★古伊万里豆皿・なます
 - ★★発掘陶片・山茶碗など
 - ★★中国・朝鮮の古陶磁



◆ アンティーク

- ★★50'S眼鏡屋ポスター油絵
- ★★掛け時計・腕時計など
- ★★大正時代ランプシェード
- ★★大正・昭和初期色ガラス各種
- ★★明治・大正のガラス各種
- ★デッドストック 洋食器各種
- ★★額絵いろいろ
- ★★トランク・バッグなど

♥ 古民芸

- ★★大正時代鏡台
- ★★漆お椀・茶托・御膳
- ★★明治道具箱・樽など
- ★★李朝石鍋 珍品
- ★★常滑壺 ★越前壺
- ★高麗・李朝の碗・壺
- ★アフガン石仏
- ★道教壁画(部分)
- ★漢時代瓦・新羅高杯など



古布・古裂

✂ 古布

日本の上質な絹もの
1mより 色々
大島紬・絞り・銘仙など

1mにつき1000円ほどの価格です。
ご自分で色々なものをお作りになる
方達のご要望に合わせて、多種多様
な日本の布地を取り揃えています。

端布組み合わせ
¥300より

✂ 半衿・帯揚げ

昔の着物をほどいて絹の半衿と帯揚げを
仕立てました。着物のおしゃれのポイント
は半衿です。同じ着物も、半衿を変える
だけで、別の着物のように生まれ変わります。
貴方のアイデアで、半衿と着物、帯と帯揚げ
帯締めなどを組合わせた個性的なコーデ
ィングを考えてみませんか。
★無地の半衿 ¥500より
★銘仙・絞りなど ¥800より



✂ 帯

アンティークの帯・小物放出!

✂ 着物・アンティーク古着

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザイン
着物や、大島紬なども。買いやすいお値段で
入荷しています。

大島紬	¥9800より	絞り	¥48000
久留米紬	¥7800より	銘仙	¥6500より
お召し	¥6800より	小紋	¥3800より

